

社福 のだ

Nodacity Council Of SocialWelfare

ホームページ <http://www.nodasyakyo.or.jp>



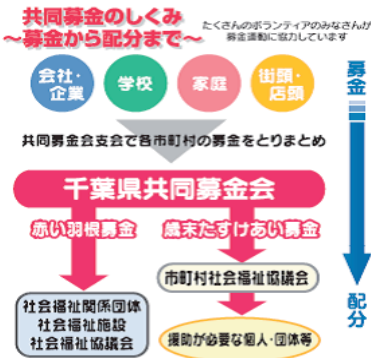
No. 133

令和5年11月1日発行

編集・発行

社会福祉法人野田市社会福祉協議会
千葉県野田市鶴奉5番地の1
TEL 04-7124-3939
FAX 04-7124-8883

主な内容>>②エンディングノート配布・金婚写真撮影・のだ市民ふれあいフェスティバル2023・会費納入のお願い ③おむつ配布・入れ歯回収・貸出案内・あん・ピコ紹介 ④まちがいさがし・寄せられた善意



戦後の荒廃が残る昭和22年に始まった赤い羽根共同募金は、みなさまに支えられ、今年で77回目を迎えます。

「共同募金」は、集めてから使いみちを決める募金ではなく、集める前に団体・施設などからの要望を受け付ける「計画募金」です。民間社会福祉の資金として、30%が県内の民間社会福祉施設等に、70%が社会福祉協議会に配分され、地区社会福祉協議会活動や福祉団体の育成、ボランティア団体への支援など、地域の福祉活動を幅広く支えています。

また、大規模災害が発生した際の備えとして、募金

あなたの募金は、あなたの町へ
赤い羽根は、たすけあい・思いやり・しあわせのシンボル

の3%以内を「災害等準備金」として積み立てています。

人と人との接触の機会が減り、コミュニケーションが取りづらい状況下においても、つながることをあきらめず、孤立、孤独の問題に取り組む活動が続けられています。

赤い羽根共同募金は、「じぶんの町を良くするしくみ」をテーマに、住民ボランティアや、高齢者・障がい者・子どもへの支援活動等、市民自らの行動を応援しています。

みなさまのご理解ご協力をよろしくお願いたします。



12月からは
歳末たすけあい運動がはじまります



12月の1か月間は「つながりささえあうみんなの地域づくり」をスローガンに「歳末たすけあい運動」が展開されます。

この運動は、共同募金運動の一環として行われるもので、募金の全額が社会福祉協議会へ配分されます。

新たな年を迎える時期に、援助や支援を必要とする方が、安心して暮らすことができるよう実施されるもので、「歳末見舞金」、特別養護老人ホーム入所者への「訪問美容サービス」及び、70歳以上のおひとり暮らしを対象で要介護1以上の方を対象

配分



とした「エアコン・クーリーニングサービス」の事業費として配分されます。

市内各地で、街頭募金活動も行われる予定です。みなさまのご協力をお願いします。



この広報紙は、赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています（再生紙使用）



「もしも」の時に備えるために
エンディングノートをご活用ください

社会福祉協議会では、「もしも」の時の意思決定を支援するため、エンディングノートの無料配布を実施しています。

〔エンディングノートとは〕

エンディングノートは、あなたに万が一のことがあったときに、伝えたいことや、残された人にとって必要なことをまとめておくためのものです。

〔対象となる方〕

市内在住の方（代理受領可）

〔料金〕 無料。1人1冊まで

〔配布場所〕

①社会福祉協議会事務局
 （鶴奉5-1-1）

②関宿福祉センターやすらぎの郷
 （古布内1944-2）

〔配布時間〕

8時30分から17時15分まで

（土・日・祝日・年末年始を除く）

〔書き方講座を開催します〕

エンディングノートの書き方や、活用方法をお伝えするために「エンディングノート書き方講座」を開催します。

参加される方には当日、エンディングノートを1冊差し上げます。

みなさまのご参加をお待ちしています。

※すでに社会福祉協議会でエンディングノートを受領されている方は、当日お持ちください。

〔日時〕 12月2日（土）

10時から11時まで

〔会場〕 総合福祉会館第3会議室
 （鶴奉5-1-1）

〔参加費/定員〕 無料/20名（先着順）

〔申込方法〕

電話による申込。11月2日（木）より受付。定員になり次第終了。

**結婚の思い出を
 記念写真に**

結婚50周年を迎えられた方を対象に、プロのカメラマンによる「金婚記念撮影会」を開催します。

希望される方は、11月16日（木）

までに、電話でお申込ください。

後日、社会福祉協議会より招待状を発送いたします。

〔対象となる方〕

原則として、昭和48年に婚姻されたご夫婦

〔日時〕 11月26日（日）

〔場所〕 総合福祉会館第一会議室
 （鶴奉5-1-1）

※撮影日以外の撮影や自宅に出向いの撮影は行いません

**のだ市民活動ふれあい
 フェスティバル2023を開催**

11月19日（日）に「のだ市民活動ふれあいフェスティバル2023」を開催します。昨年に引き続き「市民ふれあいハートまつり」、「福祉のまちづくりフェスティバル」、「市民活動元気アップふえすた」の3つのイベントを同時開催するもので、中央公民館、総合福祉会館を中心に、発表や展示、販売を行う市民活動の一大イベントです。市内小中学校の児童生徒から寄せられたポスターの展示もあります。ご家族揃ってぜひお越しください。

〔日時〕 11月19日（日）

10時から15時まで

〔場所〕

中央公民館/総合福祉会館/野田ガスホール（文化会館）



手話コーラスで開会（昨年の様子）

〔連絡先〕

野田市社会福祉協議会
 ☎7124-3939

**あなたの会費で地域福祉が
 支えられています**

社会福祉協議会は、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを推進するため、地域のみなさまやボランティア、福祉関係者等のご協力を得ながら、共に考え実行していく民間の福祉団体です。

社会福祉協議会では、地区社会福祉協議会を核とした地域での活動やボランティアの育成、支援など、様々な地域福祉事業を行っています。みなさまから寄せられる会費は、地域福祉活動を推進する上で、貴重な財源となっております。

また、会費の一部は、地区社会福祉協議会の活動費として還元されています。

みなさまのご理解・ご協力をお願いいたします。

〔還元方法〕

具体的な還元方法は、一般会費納入額（1世帯あたり500円）のうち、社会福祉協議会納入額300円を超えた額と特別会員納入額（1世帯千円以上）の40%を地区社会福祉協議会に還元します。



社会福祉協議会では、不要になつた入れ歯を回収しています。入れ歯や虫歯治療で削つた歯の上部にかぶせる「クラウン」などは、金、銀、パラジウムといったレアメタル（希少金属）が使われており、これをリサイクルする活動です。長く使つたものでも、価値ある資源として利用できます。

〔収集方法〕

熱湯または洗剤で消毒し、ビニール袋に入れて、野田市社会福祉協議会事務局または関宿出張所（やすらぎの郷）にある回収ボックスまでご持参ください。

不要になつた入れ歯回収します！

〔使いみち〕

業者に送り、換金したお金の一部が（財）日本ユニセフ協会と社会福祉協議会に寄付され、地域福祉活動の資金として役立てられます。
※金属が使われていない入れ歯は回収の対象となりません



リサイクルで社会貢献も

善意の寄付で、寄せられた紙おむつ等を必要な方やそのご家族に抽選で差し上げます。
「往復はがき」に①住所②氏名③電話番号④年齢⑤希望商品（おむつ又はパッド）を明記の上、ご応募ください。
厳正なる抽選のうえ、はがきで結果をお知らせします。
必ず「往復はがき」にてご応募ください。
※サイズ、種類はご希望に添えない場合がございます
〔応募できる方〕
市内在住で、社会福祉協議会事務局へ直接受け取りができる方

紙おむつ差し上げます



寄付の受け入れも受付しています
（新品未開封に限ります）

〔配布人数〕

おむつ8名・パッド8名

〔応募先〕

〒278-0003 野田市鶴奉5-1
野田市社会福祉協議会

〔応募締切〕

11月30日（木）

車いすの貸出

〔対象〕

高齢者・障がい者（児）及び一時的なけがなどにより必要な方

〔利用料〕

無料（貸出期間中の故障は自己負担）

〔貸出期間〕

原則1か月（更新可）



貸出状況はお問合せを

— 貸出案内 —

福祉車両の貸出

〔対象〕

車いすを利用して移動する方及びその家族

〔利用料〕

無料（燃料は自己負担）

〔貸出車両〕

- ①「たんぼぼ号」（軽自動車）
- ②「ゆうあい号」（ワンボックス車）
- ③「定員」3名（車いす1台）
- ④「定員」5名（車いす2台）



運転手は利用される方で確保をお願いします

おさんぽカフェ あんぴの活動

～担い手も、楽しく、負荷なく～

人と人のコミュニケーションが減り、住民同士がつながり、互いに支えあうコミュニティづくりが求められています。

福田地区で民生委員・児童委員として活動されている清宮さんが、地域のふれあいの場として、昨年10月24日に、ご自宅で「おさんぽカフェ あんぴ」をオープンしました。

地域包括の会議で、「近くでコーヒーを飲みながら話せる場所があったらいいな。」という話から、自宅前の公園を散歩する人が多いこともあり、ご近所

さんや地区内の民生委員に声をかけ、オープンすることとなりました。地元野菜の販売や無料のアロママツサージ、読み聞かせなど、メニューも豊富。担い手も楽しみながら、負担なく、月1回開催しています。「おさんぽ」ついでに立ち寄り、楽しいひとときを一緒に過ごせたら」と語ってくれました。



気軽に立ち寄れる憩いの場

赤い羽根まちがいさがし

～10個の間違ひを見つけよう～



キコちゃん

〔応募方法〕 郵便はがきに切り取った絵柄を貼って、10個の間違ひを赤色の○で囲み、必要事項(①氏名〈フリガナ〉、②住所、③電話番号、④年齢、⑤性別、⑥「社福のだ」の感想を明記のうえ、ご応募ください。正解者の中から、抽選で5名の方に粗品をプレゼントします。

ご応募いただいた方の個人情報、他の目的で使用する事は一切ありません。

〔応募締切〕 11月30日(木) ※応募上の注意：間違ひの箇所がはっきりと分かるよう赤色の○で囲んでください

〔応募先〕 〒278-0003 野田市鶴奉5-1 野田市社会福祉協議会

ご家庭に眠っている食品大募集

社会福祉協議会では、フードバンクちばと協力して、食品の寄付を受け付けています。

受け付けた食品はフードバンクちばに集められ、ボランティアによる仕分けや発送作業を経て、県内の相談機関や福祉施設を通して、必要としている方々に送られます。

〔寄付いただきたい食品〕

穀物(お米・麺類・小麦粉等)、保存食品(缶詰・瓶詰等)、インスタント食品、レトルト食品、乾物(のり・豆等)、菓子類、飲料(ジュース・お茶等)、調味料各種、食用油等、ギフトパック(お歳暮・お中元等)

〔注意いただきたい点〕

- ①賞味期限が明示され、かつ2か月以上あるもの
- ②常温で保存可能なもの
- ③未開封であるもの
- ④破損で中身が出ていないもの
- ⑤お米は今年度及び前年度産のもの(玄米でも可)

〔寄付の方法〕

社会福祉協議会の窓口までお持ちください

寄せられた善意

市民のみなさまから心のこもった温かい寄付が寄せられました。みなさまのご厚意に厚くお礼申し上げます。

〔金品〕

- 家族葬式場小さな森の家様…………… 13,450円
- 野田高S40年度卒E・F組クラス会様… 23,307円
- 間瀬光希様…………… 2,000円
- 匿名様…………… 5,000円

〔物品〕

- 長谷川篤志様…………… おむつ259点
- 大井雅史様…………… おむつ70点
- 木下恵子様…………… おむつ22点
- 匿名様…………… 車いす2点、おむつ338点
パッド1,088点、衣類33点

〔福祉施設へ指定寄付〕

- (株)日本総合開発様…………… お菓子18,482円相当
(令和5年9月26日現在)

お知らせ

11月27日(月)は害虫防除のため、全館臨時休館となります。

1人で悩まずに、心配ごと相談へ

家族や生活のこと、仕事や学校のこと、どこに相談すればよいか分からない悩みや不安をお持ちの方、気軽にご相談ください。

経験豊富な民生委員が相談に応じます。

〔日 時〕 毎週火曜日・第1金曜日
13時から16時まで

〔場 所〕 総合福祉会館相談室

〔連絡先〕 野田市社会福祉協議会

☎7124-3939



SNSでタイムリーな情報を発信

SNSは、タイムリーな情報を迅速に伝えられ、災害時などに特に効力を発揮することから、社会福祉協議会でもFacebook、InstagramといったSNSを開設しています。

ぜひ、ご覧ください。



野田市社協

検索

